

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	新鮮凍結血漿製剤からの補体因子精製 (同上)
研究期間	平成 28 年 4 月 ～ 平成 30 年 3 月
研究機関名	滋賀医科大学
研究責任者職氏名	講師 (学内) 澤井俊宏

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

1 研究の目的・意義

補体系とは、生体に侵入した微生物を排除するための重要な仕組みで、複数の補体因子と呼ばれるタンパク質から構成されています。補体系の研究にはヒト由来の補体因子が不可欠ですが、入手がたいへん困難です。献血された血液のうち、輸血に使用できない血液をいただき、下記の方法で補体因子（補体第3因子、H因子、P因子、B因子、D因子、I因子等）を精製して、補体介在性腎疾患（IgA腎症、C3腎症、非典型溶血性尿毒症症候群等）の診断のために試薬として使用します。

2 方法《献血血液の使用方法含む》

いただいた血液を用いて、各補体因子を結合する抗体カラムを通過させ、目的とする補体因子を特異的に結合させて精製します。精製した補体因子を用いて、ヒツジ赤血球による溶血試験及びELISA法による自己抗体、膜侵襲複合体濃度を測定して、補体介在性腎疾患の診断を行います。

3 予測される研究の成果等

補体系の検査を実施することで、診断が困難な補体介在性腎疾患を適切に診断し、早期に治療して腎機能の悪化を防ぐことが可能となります。

受付番号	28J0053
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	滋賀医科大学小児科学講座
担当者	澤井俊宏
電話	077-548-2111
Mail	sawai@belle.shiga-med.ac.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。